あすなろ新聞

第125号
令和８年３月１日
群馬大学共同教育学部
附属特別支援学校

高３組 沖縄修学旅行

文化や自然を感じながら楽しみました!!

高等部３組担任 **髙坂　周平**

11月26日(水)から28日(金)までの３日間、沖縄県へ修学旅行に行ってきました。１日目は、ナゴパイナップルパークを訪れ、ソフトクリームやジュースで南国の味を堪能しました。２日目は、むら咲むらでの体験活動に加え、美ら海水族館や古宇利大橋を巡り、沖縄の文化や自然を満喫しました。最終日は、修復中の首里城を見学し、復興へ向かう姿を目の当たりにするという貴重な経験ができました。慣れない地での活動でしたが、事前学習で調べたことを生かしながら、友達と協力して、たくさんの思い出を作ることができました。

中３組 東京修学旅行

調べて　みんなで楽しみました

中学部３組担任 **小須田朱里**

９月10日(水)から12日(金)まで、東京方面へ修学旅行に行ってきました。１日目は、電車や新幹線を乗り継ぎ、しながわ水族館に行きました。色とりどりの魚やカワウソ、イルカショーをじっくり見て楽しみました。

２日目は、ずっと楽しみにしていたディズニーランドへ行きました。アトラクションに乗ったり、レストランで注文して食事をしたり、事前に選んでいたお土産を買ったりしました。夜までディズニーランドを満喫することができました。

３日目は、浅草で食品サンプル作りをしました。ろうをお湯の中にくぐらせて、えびやかぼちゃの天ぷら、レタスを作りました。ビュッフェでのマナーや、新幹線や電車の乗り方など、６月の宿泊学習で学んだことを生かして活動することができました。友達と協力する姿も見られ、生徒一人ひとりの自信につながる３日間となりました。

PTA活動

ふとくさい

ふとくさい担当 舟木　彩乃

７月17日（木）に、ふとくさいが開催されました。会場には、生徒たちが心を込めて手書きした案内表示や装飾が施され、来場者を温かく迎える雰囲気に包まれていました。校舎をつなぐ連絡通路には、小・中・高等部の図工・美術作品が並び、子どもたちの個性や成長が感じられました。

ふとくさい部を中心に、生徒・教職員・保護者が一丸となって作り上げた本行事は、大きな成果を収めました。中でも、ふとくさい部によるボウリングの催しは、ひときわにぎわいを見せ、会場には天真爛漫な子どもたちの笑顔があふれていました。

関附連茨城大会

教務主任 真下　和将

10月31日（金）に関附連茨城大会が開催され、教員３名、ＰＴＡ理事３名が参加しました。教員部会やＰＴＡ部会に分かれ、他の附属学校の実践発表を聴講するとともに、活発な意見交換が行われました。大会の締めくくりには、参加者全員が一堂に会する総会が開かれ、附属学校の今後の展望や役割について考える機会となりました。

施設見学会

ＰＴＡ広報部 内田美和子

10月23日（木）に施設見学会が開催されました。

午前の部は「ウェルク高崎」様で、クッキーやチーズケーキ作り、ボールペンの組み立て作業などを見学させていただきました。職員の方の手厚いサポートにより、利用者の方々が安心して真剣に作業に取り組み、活動されている様子がうかがえました。

午後の部は「多機能型事業所こころ」様で、ビス詰めやステープラー針の箱詰め作業などを見学させていただきました。利用者の方々が明るく意欲的に活動されていて、毎日楽しく通所されている様子が見受けられました。どちらの事業所様も、保護者からの多数の質問に丁寧にお答えくださり、貴重なお話をうかがうことができ、大変有意義な一日となりました。ご多忙の中、見学にご協力いただいた事業所様に、心より感謝申し上げます。

読み聞かせ

ＰＴＡ広報部 城田由美子

ＰＴＡ文化部による読み聞かせが、学部ごとに行われました。子どもたちが楽しめるよう、物語の内容に合わせて工夫を凝らしながら読んでくださると、じっと聞き入ったり、音の響きに歓声を上げたりと、一人ひとりが豊かな表情で反応を返してくれ、物語の世界に引き込まれていく姿が見られました。読み聞かせを通して、みんなが笑顔になり、心の交流が図れた、温かなひとときでした。

自分の思いや考えをもち、社会とかかわる児童生徒の育成
～子どもが願いの実現に向かう中で、思いや考えを巡らせる授業実践～
― 第46回公開研究会 ―

研究主任 上坂美香子

11月７日（金）に公開研究会を開催し、県内外から約120名の方々にご参会いただきました。今年度は、授業実践を通して、子どもが「〇〇したい」「〇〇なりたい」といった「願い」をもつための手立てや、思いや考えを巡らせるための活動や支援の工夫について検討しました。授業では、子どもが思いや考えをもち、主体的に取り組む姿が見られたと好評をいただきました。また、広島都市学園大学より竹林地 毅様をお招きし、ご講演いただきました。

小学部 猪浦　彩夏

小学部「つくってあそぼう　〇〇らんど」では、教師に依頼したり、友達や教師を誘ったりしながら、みんなが楽しい「はーとらんど」をつくりました。友達や教師と一緒に玩具などをつくる活動を繰り返す中で、自分から「一緒にやろう」や「手伝ってください」などと言葉で伝え合う場面が、たくさん見られるようになりました。

中学部 髙橋　初穂

中学部「『すてき』にかざろう」では、クリアコップやカラーセロハンなどの透明材料を使って教室を飾りました。レイアウトカードを活用したり、友達と飾りを鑑賞し合ったりする中で、材料の特徴を捉えたり、色や形から「ジュース」や「ランプ」などを見立てたりするなど、イメージを広げながら表現する姿が見られました。

高等部 和田　拓

「計画的にお金を使おう」では、双六形式の「生活体験ゲーム」を通して、１か月間に１万円を計画的に使う学習をしました。振り返りや、友達や教師のお金の使い方の工夫を共有する中で、予算を立て、商品を比較して安さや丈夫さを考えて選んだり、購入を見送ったりするなど、計画的にお金を使う姿が見られました。

みんなで協力！学習発表会

小学部校内部主事 小越　薫子

12月12日（金）に、学習発表会を行いました。各学部に分かれ、これまでに学習してきた成果を保護者の皆様に向けて発表しました。小学部では、各クラスでの発表や、みんなで合奏をしたり、サンタクロースからプレゼントをもらったりしました。中学部では、各クラスでの発表をしたり、みんなでダンスをしたりしました。高等部では、合奏やダンスの発表、修学旅行の報告をしました。会場の装飾や司会進行など、会の企画・運営も学部のみんなで協力して行うことができました。

二十歳の集い

進路指導主事 吉田　恵理

１月12日、二十歳を迎えられた皆さんと本校職員でお祝いの会をしました。それぞれの近況を報告し合うとともに、学生時代の思い出を写真で振り返り、学校からプレゼントを渡したり、みんなでお菓子を食べたりしました。それぞれの場所で頑張っていることを話す姿に、成長を感じる会となりました。皆さんの今後の活躍を応援しています！

卒業おめでとう

小学部

― 担任から ―

小学部３組担任一同

６年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。４月に最上級生として、率先して係の仕事に取り組む姿に「さすが６年生だな！」と感心したことが、最近のことのように感じられます。自分のことは自分でやる姿勢、泣いている友達がいると優しく寄り添えること、そんな頼もしくて優しい６年生は、先生たちの自慢です。小学部で経験したたくさんのことを力に、中学部でも６年生の皆さんらしく頑張ってください。応援しています！

― 保護者から ―

小学部卒業生保護者　内田美和子

入学当初はコロナ禍であり、ドキドキ・ワクワクよりも、学校生活はどうなるのだろうと不安の方が大きかったのですが、先生の温かいご指導により、すぐに新しい環境にも慣れ、「笑顔・健康・元気」で充実した毎日を送ることができました。たくさんの優しいお友達と関わりをもち、一緒に活動することの楽しさ、協力することの大切さを学び、「できた！」という成功体験を重ね、心も体も大きく成長しました。子育ての悩みや喜び、アドバイス等を共有できた先生方、保護者の皆様に心から感謝申し上げます。中学部でも、挑戦する気持ちを大切にしながら、スモールステップで少しずつ前へと進んでほしいと思います。

中学部

― 担任から ―

中学部３組担任一同

中３組の皆さん、ご卒業おめでとうございます。中１組から仲間が増え、６人でたくさんの時間を過ごしてきましたね。宿泊学習や修学旅行では、みんなと一緒にいろいろなことを経験し、自分で決めたことに挑戦し、任された役割を果たす姿がとても印象的でした。初めての校外実習でも、目標をしっかり立て、これまで身に付けてきた力を発揮することができましたね。高等部でも、これまでの経験をばねに、新しいことに挑戦していってください！

― 保護者から ―

中学部卒業生保護者　齋藤奈保子

ご卒業おめでとうございます。新しい環境に少しずつ慣れ、笑顔で登校する姿が印象的でした。寄り添ってくれる素敵な先生方、支え合う笑顔と笑い声があふれるクラスで過ごした日々は、かけがえのない時間だったと思います。「欠席したくない」と涙する姿には、心から楽しんでいるのだと安心感を覚えました。行事では司会を任せていただくこともあり、できることが一つひとつ増え、自信をもって挑戦する姿に大きな成長を感じました。一日一日の積み重ねと先生方の笑顔の力が今につながり、本当にありがとうございました。保護者の皆様にも、親子共々助けていただき感謝しております。高等部に進んでも、自分のペースで自立に向けて楽しく成長していってください。

高等部

― 担任から ―

高等部３組担任一同

高等部３組の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんと一緒に過ごしたのは短い間でしたが、私たちにとっては非常に濃く、大切な時間でした。最高学年として、行事や現場実習に一生懸命取り組む皆さんの姿は、とても立派でした。この１年でひと回り大きく成長した皆さんの姿を間近で見守ることができ、本当に嬉しかったです。新しい場所でも、自分らしさを忘れず、一歩ずつ進んでください。これからも、ずっと応援しています。

― 保護者から ―

高等部卒業生保護者　木村　敏子

小さな体に期待と不安を抱えて校門をくぐったあの日から、12年が経ちました。泣いたり笑ったり悩んだりしながら、今日まで過ごしてきました。娘も私も、困難に直面するたびに先生方や保護者の皆さんから励ましの言葉をいただき、何とかやってくることができました。すべての出来事に関わってくださった方々は、私たち親子の宝物です。誰一人、何一つ欠けても、今の娘は存在しません。この場をお借りして、感謝を申し上げます。この先は活動の場を社会に移しますが、「笑顔多め、後悔は少なめ」で進んでいきます。最後になりますが、在校生の皆さんが充実した時間を過ごせるよう、陰ながら応援させていただきます。

編集後記

今号の発行にあたり、たくさんの方々にご協力いただき、ありがとうございました。学校と保護者と子どもたちとのコミュニケーションのツールとして、活用していただけたら幸いです。次号以降も、繰り返し読み返したくなる誌面となりますように。一年間、ありがとうございました。

（広報部　木村　敏子）